

WEST LIFE

校長の目

令和7年6月2日(月)

50th
ANNIVERSARY



まずは、先週金曜日に書ききれなかった話題から。

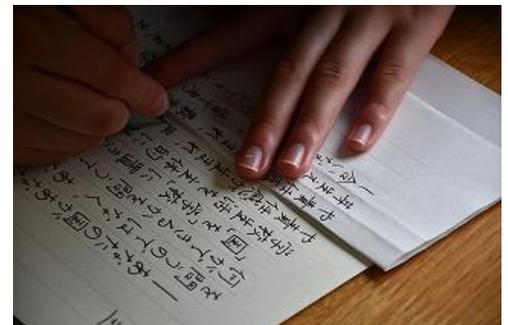
2年生の家庭科の授業で和装について体験的に学習していました。学習指導要領には、「衣服の選択」について、衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること、という内容が示されています。その中で、日本の伝統的な衣服である和装について触れることと、和装の基本的な着装も扱うことができるとされています。本時は、着物、作務衣、甚平が用意されていました。作務衣や甚平は、予備知識が無くてもなんとなく着ることができますが、着物は帯の締め方が難しいです。生徒たちは、動画を見ながら数人がかりで帯をしめていました。着物は、シンプルな構造で、何度でも仕立て直しができるので、SDGsにはもってこいの衣服ですが、着こなすには慣れが必要ですね。



今朝は、生徒会本部が1年生の教室を訪問し、生徒会の取り組みについて説明と協力依頼を行いました。生徒会本部が、今、本校の課題だと感じていることは、挨拶です。生徒会では、伝統的に「S級のあいさつ」に取り組んでいます。自分から・立ち止まって・目を見て・大きな声で・笑顔で・おじぎ、という挨拶です。挨拶にもTPOはありますので、友達同士でかしまった挨拶をするのはそぐわないと思いますが、目上の者に礼儀正しい挨拶を行うことは、社会生活を送る上で必要なことです。生徒会本部からは、「挨拶を無視する」「ぺこりと頭を下げるだけ」「相手の目を見るだけ」なのは、あいさつではありませんとしっかり伝えていました。



画像は、3年生の国語、硬筆の授業です。先日紹介した2年生は横書きでしたが、3年生は縦書きに戻ります。お手本は、少し文字を崩した行書になっています。ペン書きとはいえ、なかなかの難しさです。3年生は、か学年よりさらに静寂の中で集中して書いていました。ほれぼれするような達筆の生徒もいます。ワープロ等での文書作成が多くなった今、手書きの美しさや価値はもっと見直されてもいいと感じています。美しい文字を書けることは一生の宝です。



6月3日(火)～6月4日(水)は、校長が出張等のため、「WEST LIFE 校長の目」はお休みします。